



取締役頭取

金城棟啓

## GREETING ごあいさつ

皆様には、平素より琉球銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

多くの皆さまに琉球銀行をより一層理解していただくために、「琉球銀行の現状」（2014年度中間ディスクロージャー誌）を作成しました。

平成26年度上半期の国内経済は、終盤にかけて企業収益や個人消費など一部に弱さもみられましたが、全体としては緩やかな回復基調が続きました。

沖縄県経済は、個人消費が消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が想定範囲にとどまる中、観光関連は入域観光客数の増勢が続き、建設関連は公共・民間の旺盛な投資により好調に推移したことなどから、拡大の動きが強まりました。

このような中、中期経営計画「Break Through 2012」の最終年度となる今年度は、「選ばれる銀行の実現」をテーマに、ITの活用等による生産性向上や業務の効率化・スピード化を図ったほか、成長分野への取組強化による法人取引の拡大、お客様のニーズに合わせた商品・サービスの充実や営業店サポート体制の拡充による個人取引の強化などに取り組みました。

当行はこれからも、コンプライアンス（法令等遵守）を全業務の基礎とし、強みであるコンサルティング機能の発揮やITインフラのフル活用等により、多様化するお客様のニーズを的確に捉え、迅速に対応することでお客様と高い信頼関係を構築し、「選ばれる銀行」の実現を目指してまいります。

平成27年1月